

2022. 1. 26 No. 170



# 立科町 議会だより

## 目 次

|               |        |
|---------------|--------|
| 議案審議報告 .....  | p2～3   |
| 常任委員会報告 ..... | p4     |
| 一般質問 .....    | p5～9   |
| 町民と語る会 .....  | p10～11 |
| 編集後記 .....    | p12    |

春を  
待つ

(津金寺)



令和3年第4回定例会を12月2日から12月13日までの12日間の会期で開き、条例や補正予算などについて審議を行った。以下、審議された内容や議決結果などと、その主な内容を掲載。

## 令和3年度立科町一般会計補正予算（第5号）について

### ●賛成討論 今井 健児

今定例会に上程された全議案について、賛成の立場から討論する。

令和3年度立科町一般会計補正予算（第5号）について、地域交通対策経費では、一括定額運賃制度を活用したタクシーによる輸送サービスを行うとのこと。当町において新たな公共交通の形であり、今後の経過も含め、より良い交通整備の一步として、まずは試みる事に賛成する。

その他、今定例会に上程された議案に対し、反対の余地はなく、引続き今年度の柔軟な対応と円滑な行政運営に期待し賛成する。



### ●賛成討論 中島 健男

新型コロナウイルスワクチン接種事業では、3回目の追加接種をするために2,735万4千円を計上。

新型「オミクロン株」対策に有効とのことであり、希望者全員が確実、早急に接種できるように希望し賛成。但し、コールセンター費用の内容については、前回、説明がなかったので、今回は、決定後、経過を含め議会に説明願う。

道路新設改良舗装費では、町道白樺湖大門峠線改良工事で、3,570万6千円計上された。当初予算と前回の第3号補正と合わせ5,505万円、来年度の債務負担行為補正5,780万円及び上下水道設計委託費と工事費も合わせると1億1千万円を超える大型工事となる。内容が分かりづらいので、適宜、議会と町民に丁寧な説明を願う。

教育費では、小学校の雨漏りの修繕、中学校の高架水槽揚水用ポンプ1台更新、体育センターの排煙窓2箇所修理、児童館の床暖房用ボイラー交換が計上された。早急な対応を望んで賛成する。

## 令和3年度立科町一般会計補正予算（第6号）について

### ●賛成討論 村田 桂子

この補正予算は二つの事業が組まれている。一つは福祉灯油の給付事業。「非課税世帯に1枚千円・10枚の福祉灯油券を支給。期限を3月まで」とするもので600世帯を予算化。時宜にかなったものであり賛成する。原油高を受けて、ガソリン・灯油が大幅に値上げしており、低所得世帯にとって脅威となっており、町による灯油券は大いに暮らしの助けになることを評価する。

また子育て世帯等臨時特別支援事業経費は、子育て家庭10万円の支給予定の半分が今回予算化。子ども一人あたり、まずは5万円を支給するものである。「残りの5万円も現金支給」と町長は明言しており、クーポンよりも利用しやすいものとして評価したい。

福祉灯油も給付金も生活困窮者の救済を目的としていることから、非課税世帯のみならず「町長が特に認めた場合」を柔軟に適用し、多くの生活困窮者に町の思いが届くことを期待する。

### ●賛成討論 芝間 教男

立科町子育て世帯等臨時特別支援事業費補助金は、国会の支給方法が揺らぐ中、まずは事務的に支給可能な一人あたり5万円を12月24日に支給する事を目指すものであり、早急な給付が求められる中、最善の策として賛成するものである。

また、福祉灯油券交付事業は11月30日付け、町長に提出した「原油価格高騰から暮らしを守るための緊急申し入れ」と趣旨を同じくするものである。12月中に交付事業を緊急に行なうものであり、町民に寄り添う交付事業で、今後とも灯油価格等の情勢を見ながら、更なる交付拡大の検討する可能性も残しており期待して賛成とする。



## 【結果の表示】 ◎全会一致で可決・承認

| ◇専決処分（1件）                                                                                                                                                          | 結果 |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|
| 一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例                                                                                                                                         | ◎  |
| ④ 長野県人事委員会勧告に準じ、期末手当引下げのため、条例の一部改正するもの。                                                                                                                            |    |
| ◇条例の一部改正（2件）                                                                                                                                                       | 結果 |
| 立科町国民健康保険条例の一部を改正する条例制定について                                                                                                                                        | ◎  |
| ④ 出産育児一時金等の支給総額維持のため、条例の一部改正するもの。                                                                                                                                  |    |
| 立科町権現山運動公園設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例制定について                                                                                                                             | ◎  |
| ◇補正予算（5件）                                                                                                                                                          | 結果 |
| 令和3年度立科町一般会計補正予算（第5号）について                                                                                                                                          | ◎  |
| ④ 7,945万5千円を追加し、総額50億923万2千円とするもの。歳入では、新型コロナウイルスワクチン接種に対する国庫負担金・補助金2,735万4千円、辺地対策事業債3,570万円の増額補正が主なもの。歳出では、新型コロナウイルスワクチン接種事業費2,735万4千円、町道改良工事費3,570万6千円の増額補正が主なもの。 |    |
| 令和3年度立科町一般会計補正予算（第6号）について                                                                                                                                          | ◎  |
| ④ 4,592万円を追加し、総額50億5,515万2千円とするもの。歳入では、子育て世帯等臨時特別支援事業費国庫補助金4,592万円を増額補正するもの。歳出では、子育て世帯等臨時特別支援金4,500万円、福祉灯油給付費600万円の増額補正が主なもの。                                      |    |
| 令和3年度立科町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）について                                                                                                                                    | ◎  |
| 令和3年度立科町下水道事業会計補正予算（第3号）について                                                                                                                                       | ◎  |
| 令和3年度立科町水道事業会計補正予算（第2号）について                                                                                                                                        | ◎  |
| ◇その他（2件）                                                                                                                                                           | 結果 |
| 上田地域定住自立圏形成に関する協定の一部を変更する協定締結について                                                                                                                                  | ◎  |
| 財産の取得について                                                                                                                                                          | ◎  |

【専決処分】議会が議決又は決定すべき事項を、地方自治法の規定により、町長が議会に代わって処理すること。

令和3年12月22日、臨時会が開かれ、子育て世帯等臨時特別支援金（1人当たり10万円）を給付するための令和3年度立科町一般会計補正予算（第7号）について審議を行った。

| ◇補正予算（1件）                                                                                                                                                     | 結果 |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|
| 令和3年度立科町一般会計補正予算（第7号）について                                                                                                                                     | ◎  |
| ④ 4,527万5千円を追加し、総額51億42万7千円とするもの。歳入では、子育て世帯等臨時特別支援事業費国庫補助金4,527万5千円を増額補正するもの。歳出では、子育て世帯等臨時特別支援金4,500万円及びその関連事務費27万5千円を増額補正するもの。これにより、子ども1人当たり10万円の給付を可能とするもの。 |    |





## 質問項目

今定例会では、議員 9 人が一般質問を行いました。

中島 健男 議員 5 ページ

- ①地域公共交通について
- ②通学路の安全状況について

今井 清 議員 6 ページ

- ①町の財政の現状と課題について

中村 茂弘 議員 6 ページ

- ①職員のメンタルヘルス対策について
- ②旧保育園等の状況について

森澤 文王 議員 7 ページ

- ①子宮頸がんワクチン接種の補助について
- ②立科町の景観・環境整備について

村田 桂子 議員 7 ページ

- ①気候危機打開のために

芝間 教男 議員 8 ページ

- ①立科町農業振興ビジョンについて

榎本 真弓 議員 8 ページ

- ①選挙の投票率向上について

今井 英昭 議員 9 ページ

- ①令和4年度予算編成と追跡質問

今井 健児 議員 9 ページ

- ①2020町勢要覧を見て思う観光のウィークシーズンについて

※議事録は議会ホームページで閲覧できます。



## 地域公共交通について



中島 健男

**問** 地域公共交通を取り巻く環境は、非常に厳しいが、廃止は出来ない。今後のあるべき姿を伺いたい。

**町長** 近年、交通弱者の足となるべく福祉的観点からも、利便性の高い公共交通の維持が求められている。将来的に、利用者や町民の声を反映しつつ、財政面等も勘案し判断していくが、大変厳しくなっていくと考えている。

**問** スマイル交通の昨年の一便当たり乗降客数は。

**企画課長** 幹線ルートが1・9人、西・南周り線が1人、東周り線が0・4人。シラカバ線は2・3人。

**問** 福祉型デマンド交通の利用状況は。

**企画課長** 平成30年度に対象者の要件を広げたので、登録人数は増えたが利用が少ないので、利用率20・9%。

**問** 9月30日で、千曲バスが中山道線中や休日の交通空白時間帯ができた。佐久市は独自対応だが、当町の対応は。

**企画課長** 一括定額運賃制度を活用したタクシー運行にて対応。年度内に実施。



通学路合同点検の様子

## 通学路の安全状況について

**問** 本年6月に千葉県八街市で、通学路を下校中の児童5人が撥ねられ、死傷者が出る痛ましい事故があった。学校指定通学路での悲惨な事故の発生に対し教育長の見解を伺う。

**教育長** 強い憤りを感じている。当町でも万全な対策が講じられていない箇所があり、引き続き最善の対応と交通安全の啓発に努める。

**問** この事故を受け文科省より、通学路の合同点検の実施の通達があったが点検結果と対策は。

**教育次長** 7月に、警察・道路管理者・保護者・学校等が参加して実施し、4箇所の指摘があった。町道3箇所は1箇所実施済み、2箇所は令和3年4年で対策予定。県道は、県と調整する。

**問** 私の地元から、別に通学路の改善要望が出されたが、今後の対応は。

**教育次長** のぼり旗、看板、ポール、街灯設置等可能な対策から順次行う。

## 総務経済常任委員会

所 管 総務課・企画課・産業振興課・会計室・議会事務局  
委員長／森澤文王 副委員長／芝間教男  
委 員／今井英昭 瀧澤壽美雄 榎本真弓 今井健児

12月9日、付託案件を審査した。主な質疑内容は次のとおり。

## 質疑 & A

令和3年度立科町一般会計補正予算(第5号)について

**Q** 備品購入するプリンター1台更新とは。町民課住民係が配布する証明書用プリンターである。

**Q** 国際交流推進協議会の負担金900万円の減額の内容は。

**A** ウガンダ共和国選手会のPCR検査費用、選手移動に伴うバス・飛行機代、宿泊代である。コロナの影響で人数減になったため減額する。

**Q** 補助金UIJターンの促進事業の実績と今後については。

**A** コロナの反動で移住は増えている。当初予算600万円は5件の実績であった。今、相談も1件あり他も増えることが予想されるため、増額補正を行う。

**Q** 地域交通対策経費の中仙道線代替タクシー券の判断は。

**A** 実績調査を行った結果、今の立科町で使える制度と判断した。今後、利用者負担がからない新たな制度が出た場合は判断する。

**Q** 申請件数が少ない制度という説明だが、使いにくい制度なのではないか。

**A** 10月より制度の見直しがあった。

**Q** 事業者と共に行う事業だが、期間などの縛りは無いのか。

**A** 期間の縛りは無いが、状況を見ながら数年は行ってみる。

**Q** 境界復元の業務委託を行う箇所はどこか。

**A** 佐久市協和地籍の立科町分の農地である。商工振興経費補助金の信用保証料の増額

**A** 利用件数は多くないが、1件の融資額が大きくなった。

## 社会文教建設常任委員会

所 管 町民課・教育委員会・建設環境課  
委員長／今井 清 副委員長／中島健男  
委 員／田中三江 森本信明 村田桂子 中村茂弘

12月8日、付託案件を審査した。主な質疑内容は次のとおり。

## 質疑 & A

令和3年度立科町一般会計補正予算(第5号)について

**Q** 新型コロナウイルスワクチン接種について委託料920万円は。医師会・送迎委託料・コールセンター業務などへの委託料。

**Q** 3回目の接種は、町内の医療機関で行うが、送迎委託料は必要か。

**A** 3回目は町内なので、送迎委託料は生じず、ホテルについてはコールセンターの業務を委託する予定。

**Q** ホテル従業員がコールセンターを担うのか。

**A** 総務省等の通達でも、観光などの不況業種の活用が奨励されている。またホテルのフロントなどでのノウハウがコールセンター業務にも生かされており、問題は生じていない。

**Q** 道路維持補修費が520万円計上されているが、不足しているということがあるか。

**A** 当初予算で2千万円計上したが、地区からの要望が多く、不足と判断し計上した。今後は、道路毎に順位をつけて整備したい。

**Q** 白樺湖大門峠線の改良工事は設計図が示されているが、町の負担はどのようか。

**A** 用地買収は、相殺分が300㎡あり、町の購入は400㎡分となる。

**Q** 今年度の事業費は3570万円だが、来年度分は。

**A** 来年度は5780万円である。

**Q** 上下水道会計の負担は。

**A** 水道会計で80万円、下水道で140万円。全額起債する。

証実験し、4月から運用予定。

**問** 『自家用有償旅客運送』で、各地で様々な形態で対応している。当町でも独自の方法を検討しては。

**企画課長** 当町はタクシー事業者が運行しており、この事業対象にならない。



**問** 別荘地のダストボックスが、経年劣化や不法投棄（ルール違反のゴミ）で景観を崩しているという町民の

立科町の景観・環境整備について

**町長** 制度開始以降、当町の対象者は625名。無料接種完了者は91名。残りの534名は未接種か、期間を過ぎて自費で接種された事になる。自費での接種は町では把握していない。無料接種期間が過ぎた方への対応は国も検討中であるので、その方針に従いたいと考える。国の動向が停滞するようであれば、県を通じて働きかけていきたいと思う。国、県の動向を注視して町としてどの様にするのが一番良いのかを考えている。

**問** コロナ禍による自粛等により、娘の子宮頸がんワクチンの無料接種期間が過ぎてしまった町民の方から「町で何とかしてもらえないか」という声がある。現在、厚生労働省でも救済措置を検討しているが、当町の考えは。

子宮頸がんワクチン接種の補助について



森澤 文王

方からの声がある。見栄えの良いごみ集積所の方が環境整備として効果的と考えるが、町としての方針は。別荘地のごみ集積所については、区画ごとに利用者の利便性を考慮して鉄製のダストボックスを設置している。これらは風雨等により劣化するため、修繕や更新をしている。悪質なルール違反については通知、周知看板、監視カメラ等対策はしているが、解決には至っておらず、町としても苦慮している。

**町長** 別荘地の景観という考えから、集積所を小屋にした方が問題の解決に繋がるのではないかと。ルールが守られない場所は、どんな方法をとっても改善が進まないと考え。これは、景観以前の問題であると捉えて頂きたい。



別荘地のごみ集積所

**問** 再生可能エネルギーとして①農地のソーラーシェアリング②耕作放

建設環境課長

**町長** 計画として盛り込む内容・検討内容はどのようか。再生可能エネルギーのポテンシャル・可能性の観点で策定を依頼している。

**町長** 気候変動の現状について、①町民と情報を共有・共同で対策にあたる②省エネ再エネの自給率向上③森林資源の保全・有効活用などを入れ込んだ推進計画を策定中。

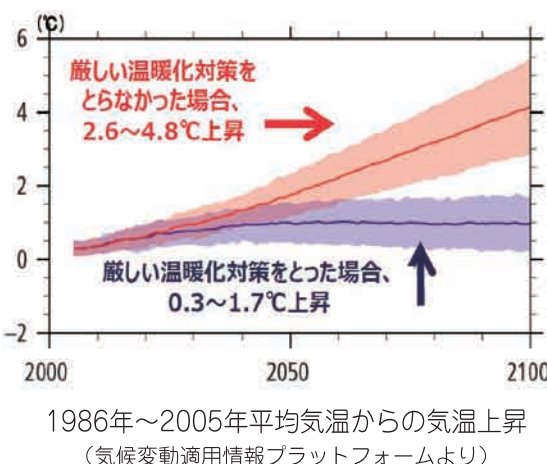
気候危機打開のために 町・町民・事業者の知恵を集めた取り組みを



村田 桂子

**町長** 気候変動の現状について、①町民と情報を共有・共同で対策にあたる②省エネ再エネの自給率向上③森林資源の保全・有効活用などを入れ込んだ推進計画を策定中。

**町長** 気候変動の現状について、①町民と情報を共有・共同で対策にあたる②省エネ再エネの自給率向上③森林資源の保全・有効活用などを入れ込んだ推進計画を策定中。



今井 清

町の財政の現状と課題について

**問** 今年の町税の収入見込み額の現状は。

**総務課長** 新型コロナの影響などにより、固定資産税、町民税、入湯税などの減を見込み、総額で前年比9680万円の減収見込みとなっている。

**問** 昨年度の町税未収金額が1億円を超えた。未収金の徴収方法は。

**総務課長** 段階的に自主納付を促し、反応が得られない場合には、差し押さえを行っている。

**問** 収入の少ない弱者対策として救済制度を今後も継続するべきでは。

**町長** コロナ禍を例にとれば、柔軟な対応を求められており、今後も的確に対応したい。

**問** 財源確保を目的としたプロジェクトチームの立ち上げの考えは。

**町長** 事業推進に必要な財源情報については、理事者を含め、各課が連携した中で情報の共有に努めている。

**問** 白樺高原別荘地1500区画の半分近くが活用されていない。コロナ禍で別荘を求める人が増えており、



白樺高原別荘地

今が売り出すチャンスではないか。**町長** 地方での暮らし方が注目を集めていると感じている。機を逃さない対応をしたい。

**問** ふるさと寄附金額の推移は。

**企画課長** 令和元年度から地方税法の改正により返礼品の見直し避けられず、1億円だった寄附額が大幅に減少し、令和元年度2339万円。令和2年度4327万円となっている。

**町長** 立科町の町独自で得ることのできる町税等の自主財源は、歳入全体の35%弱しかありません。安定した町政運営のためには、自主財源確保が必要不可欠です。町民皆さんにも広くアイデアを募り実行する必要があると



中村 茂弘

職員のメンタルヘルスについて

**問** 職員の療養休暇の取得状況は。

**総務課長** 過去5年平均6・2人。その内メンタル不調者は、年間2人程度である。

**問** 原因等は何であると思うか。

**総務課長** ストレスや環境の変化などがメンタル不調の要因として挙げられるのではないかと。職場では、具体的な対策は行っているか。

**総務課長** 職場研修のほか、ハラスメントをなくす取り組みやストレスチェックを実施している。

旧保育園等の状況について

**問** 旧保育園等の状況は、茂田井保育園や若草保育園は処分されてよかったが、千草保育園はどうなのか。

**町長** いろいろな活用方法が考えられるが、今後、中央公民館及び周辺施設との関連により、調整を図りながら、活用を考えていきたい。



旧千草保育園

**問** 三葉保育園跡地は早めに造成し、移住等に対応したかどうか。**町長** 宅地分譲地として、土地開発公社で計画を進めている。**問** 美上下にある農地について、早急に処分したかどうか。**総務課長** 5年契約で貸し付けを行っている。今後も同様に考えている。



**問** 第2期立科町振興ビジョンを踏まえ、立科町の農業の将来をどう描くか伺う。

**町長** 立科町は農業に携わる方の努力で高品質な農産物が生産されている。多くが兼業農家だが、今後農業の担い手として、法人化や専業農家の確保が最重要と捉えている。

しかし、兼業農家が代々の農地保全に努めることで、遊休農地の抑制に繋がっている事は重要と認識する。

また、定年起農者への応援づくりも必要と思っている。

**問** 農業・農村の実態把握について未実施だが今後の予定を伺う。

**産業振興課長** 調査項目は未定だが全国を対象とする「農林業センサス」による調査結果を詳細に分析して実態を割り出して行きたい。

**問** 農業就業者減少の歯止め・農業用施設の老朽化問題を伺う。

**産業振興課長** 農業振興ビジョンに基づく各事業により、毎年新規就農される方がいる。新規就農者の離農率を下げることも着目して行く。



今井 英昭

令和4年度予算編成について

**問** 任期最後の予算編成について、総まとめ・総仕上げをどのように考えているか。

**町長** 令和3年度に引き続き、4つの重点指針を継続し、さらに取り組んでいく。豊かな資源を活かした町づくりでは、課題である遊休荒廃地の解消のためブランドの確立をしたい。また振興公社については、農業も含め、既存の施設の維持体制の見直しを行い、行政に代わって機動的・柔軟に対応できる公社の必要性も含めて検討していきたい。

**問** DX（デジタルトランスフォーメーション）※推進のための予算の考えは。

**企画課長** 既存事業以外の取り組みはないが、研修会等に参加して、自治体の先進事例を参考に必要事業があれば熟慮していきたい。

**問** 本年6月より議会では本格的にICT導入、特に議案書も含めた資料の電子化について町側と合同研究を行っている。タブレット端末を持ち歩くことによって、住民への説明や質問

「自治体DX推進計画」の策定（総務省）



自治体DX推進手順書参考事例集（総務省）



の回答を資料をみながら説明が可能になり、議会・行政と町民との関係が再構築される。自治体DXの一つの取り組みとして、町側・議会側のタブレット導入についての基本的な考えは、**副町長** 合同研究会の結果次第だが、近いうちに必ず入ってくるだろうということはあるかと思われる。

**結び** DXについて重大なポイントは、自ら創意工夫をして自治体DXの取り組みとあわせて取り組み、地域社会のデジタル化を創り出しそれを実行できるかだと思います。

※DX（デジタルトランスフォーメーション）：デジタルによる変容・変革。住民サービスの向上のため、町に關係するあらゆる分野に対して町民側と町側両側面から社会の再構築を行うことを目的としている。



芝間 教男

立科町農業振興ビジョンについて

**問** 第2期立科町振興ビジョンを踏まえ、立科町の農業の将来をどう描くか伺う。

**町長** 立科町は農業に携わる方の努力で高品質な農産物が生産されている。多くが兼業農家だが、今後農業の担い手として、法人化や専業農家の確保が最重要と捉えている。

しかし、兼業農家が代々の農地保全に努めることで、遊休農地の抑制に繋がっている事は重要と認識する。

また、定年起農者への応援づくりも必要と思っている。

**問** 農業・農村の実態把握について未実施だが今後の予定を伺う。

**産業振興課長** 調査項目は未定だが全国を対象とする「農林業センサス」による調査結果を詳細に分析して実態を割り出して行きたい。

**問** 農業就業者減少の歯止め・農業用施設の老朽化問題を伺う。

**産業振興課長** 農業振興ビジョンに基づく各事業により、毎年新規就農される方がいる。新規就農者の離農率を下げることも着目して行く。

農業用施設について、幹線は、長期計画に基づき町も多額の投資をしている。集落内の施設は、多面的機能支払交付金・中山間地域農業直接支払事業など活用頂きながら地元で管理補修等を行なっている。

**問** 今「団塊の世代」の皆さんが農業を辞めると一気に減少が加速する恐れがある。農業従事者確保にどういう姿勢で臨むのか。

**町長** まちづくり創生会議より、立科町では「農業では稼げていない」、「事業承継がされず後継者が不足している」という実態報告があった。稼げる農業とするためには、的を絞って専業農家への支援を充実させるべきと提言を受けている。

補助金を頼るだけでなく、情報を収集し実態把握と合わせて専業農家支援策を重点に検討して行きたい。

**結び** 立科町の農業はもう小手先の事業では守れない。多面的機能支払交付金は「農業を守る」という面で優秀な形態だと思う。町主体の事業組織を作り上げるべきと提案をする。

また農業の実態調査を早急に行い、農業関係施策を遅延なく遂行し、町の魅力を外に発信して頂きたい。

立科町の「農村の希望の持てる姿」を示して頂く事を期待する。



榎本 真弓

選挙の投票率向上について

**問** 選挙管理委員会の重要性を再認識し、投票率向上のために行うべき対策を伺う。

**町長** 公職選挙法第6条において、それぞれに属する選挙管理委員会は、選挙が公明かつ適正におこなわれるように、常にあらゆる機会を通じて選挙人の政治常識の向上に努める共に、特に選挙に際しては投票の方法、選挙違反その他選挙に関し、必要と認める事項を選挙人に周知させなければならぬ。町選挙管理委員会も法令に則り事務執行を行っている。国では投票率向上に向けて、投票締め切り時間の延長、期日前投票の導入、選挙権年齢の引き下げなど法改正のほか若年層への啓発やキャンペーンに力をいれてきた。

**問** 立科町の投票率の現状は。

**総務課長** 関心の高い町内選挙の投票率は高い水準ではあるが、低下傾向である。今年度執行された国政選挙は、全国平均や長野県平均を上回っているが低下している。

**問** 投票率向上のために行ったことは。

**総務課長** 有線放送、ホームページ、音声告知放送、FMとうみ、広報たてしな等で周知。選挙期間中は公用車に啓発ステッカーを表示、投票日は広報車にて町内を巡回し啓発を行う。スーパリーの店頭や地元高校で啓発物の配布、新成人の投票立会人の依頼、中学校は関心を高めるように投票箱の貸し出し、入場券の性別別欄の廃止を行った。送迎車を運行し投票所への移動支援を行ってきた。今回の選挙より、議員からの提案である入場券に宣誓書を印刷して配布することを計画している。

**問** 移動期日前投票所の考えは。

**総務課長** 現在の有権者の利便性は確保されている。将来大規模な投票所の統廃合が行われた場合は、検討していかなければならない。



期日前投票所



今井 健児

2020町勢要覧を見て思う観光のウィークシーズンについて

**問** 町を支える観光において秋というシーズンをどのように捉えているか。

**町長** 白樺高原の観光資源にはまだまだポテンシャルがあり、さらに伸びる要素は十分あると考えている。秋は短い、紅葉が素晴らしく、訪れた方に感動を与えられるような景色であり、魅力ある観光資源と考えている。このことから秋のシーズンについても誘客のツールとして重要と考えている。また観光地域の安定した産業として持続させるためにも秋の需要の底上げが必要だと考えている。

今ある観光資源をブラッシュアップしつつ、従来に見る観光だけでなく体験・交流・学習などの着地型の商品の開発も進め、大勢の方が四季を問わず一年中訪れて頂けるような観光地にしてまいりたい。

**問** 情報発信について、観光協会との連絡体制は。

**産業振興課長** 秋のピーアール不足は感じている。今後、ホームページ、パ

ンフレットなど秋にも目を向けた内容にしていきたい。観光協会とは双方が必要に応じて連携はとれている。

**問** ゴンドラの運行期間の柔軟な対応はとれるのか。

**産業振興課長** 夏冬両方運行している事から、スキー場準備もあるため11月3日前後が現状限界である。

**問** 中長期が見据えた植樹計画はできるのか。

**町長** 今あるものを検証し、まずはその中において、足すものあるいは完全に見直すもの、最初から考えるものそういったものを色分けする中でやっていく必要がある。みんなで作り上げていかなければいけないが、一番は高原エリアにいるみなさん方が思いを持って、危機感を持って、そこには責任感を持って取り組んでいただきたい。

**問** 町主動で行うべきでは。

**町長** 作り上げていくという事では高原エリアの皆さんが主動であり、行政はあくまでもそこへの下支えを行っていくべきと思う。

**結び** 未来に向かってオールシーズン体制が今後の観光には必要であると考えている。





# 町民と語る会 多彩な提言・期待・新しい発想

次々！



ご参加ありがとうございました。



初めての試みとして、11月18日に「議会と語る会オンラインミーティング」を開催しました。それぞれのテーマに沿ったグループ別での意見交換は、改善や期待など新しい発想に繋がりました。終了後のアンケートは95%の方から回答をいただき、オンライン開催は良かったとのこと意見を多くいただきました。今後も時の社会変化を捉えつつ、チャレンジしていきます。記事は概要です。

A

「産業振興」

- 売り込み（町としての発信力）が弱い。  
町全体で特産品、農産物の町長含めセールス（発信）を行って欲しい。
- 個々の努力では限界がある。  
農家の窓口（総合窓口）が必要では。
- 町と事業者が力を合わせて観光と農業を結びつける。  
・ スキー以外の魅力が必要。町の農産物の地産地消を広げる。  
・ 収穫体験と観光地への宿泊、オートキャンプ場と地産地消など。  
・ 農家と事業者をつなげ、契約・提供体制を作って欲しい。
- 店舗を持たないIT関係、デザイン系企業の誘致。  
この町の自然溢れる環境は売りに出来る。
- 女神湖通りの空き店舗の解消。



森本信明議員  
今井健児議員



C

「環境・防災」

- 伝達無線（防災無線）聞こえない。
- コップ26など温暖化問題に関心を持っている。  
立科町に影響する地球温暖化問題、広報に載せてほしい。  
議員⇒「立科町温暖化対策地域推進計画」策定中。  
12月にパブリックコメント行なう予定。  
その際ご意見を是非お寄せ頂きたい。
- SDGs（持続可能な開発目標）をめざし10年前から「たてしな環境フェア」を開催し活動している。
- ハザードマップの活用と高齢者の避難について、検討が必要。  
議員⇒ご近所さんの繋がりが大切。予め地域で避難する際の声かけ組織を作っておく。区・部落と民生委員との連携大事。  
（牛鹿区・柳沢取り組み紹介）

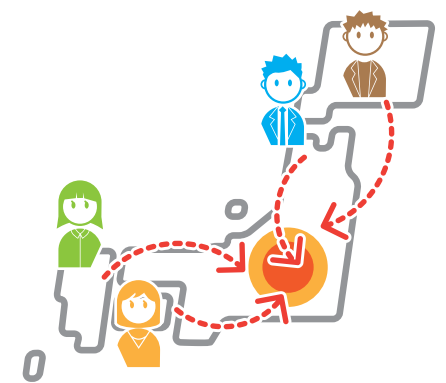


瀧澤寿美雄議員  
森澤文王議員  
芝間教男議員

B

「移住定住・子育て」

- 【移住定住】
- 移住希望は多いが、住むところが少ない。
- 住むところが少ないし、仕事先がない。
- 図書館の充実を望む。
- 空家が多いと聞いたが、移住できるところが多いと良い。
- 企業誘致をしてもらいたい。



今井清議員  
中村茂弘議員

- 【子育て】
- 子育てしやすい町にしてもらいたい。
- 子育て家庭は共働きが多いが、相談するところが少ない。
- 子育ての人と行政との意見交換ができれば良い。
- 子供がバス通学しているが、岩村田へ行くのが大変である。本数を増やしてもらいたい。

D

「福祉・地域公共交通」

- 停留所から10～20分かけて荷物をもって帰るのは大変。そのような地域には暮らせない。ドアtoドアはどうか。
- シラカバ線は観光客向け。住民にとっての交通ではない。買い物や病院に行く編成ではない。山まで20km、今のデマンドタクシーは費用と時間がかかる。
- 10月1日からの中仙道線の空白はおかしい。なぜ対策が講じられなかったのか。支障が出ている。

議員⇒1回千円で中仙道線が利用できる一括定額方式を来年から実施予定であることを紹介。



村田桂子議員  
中島健男議員

- ウーバー方式はどうか。（アプリで予約、燃料代相当分支払ういわば白タク、住民の助け合い方式）佐久・上田への通院に。
- 目的地により何回も乗り降りできる一日200円券などどうか。
- 福祉型デマンドタクシーも町外は別料金、佐久や上田の広域行政で調整できないのか。  
議員⇒要求していく。



## 長野県町村議会議長会自治功労者表彰を受賞

町村議会議員として長年在職し、  
地方自治の振興発展に貢献したことが認められ、瀧澤壽美雄議員と森本信明議員が長野県町村議会議長会自治功労者表彰を受賞されました。

12月議会定例会閉会后、田中三江議長から伝達表彰されました。



左から森本信明議員、田中三江議長、瀧澤壽美雄議員



### 今年の豊作・息災を祈る

昨年は春先の凍霜害、八月の長雨低温でお米もリンゴも収量が少なく、その上米価の下落で厳しい年となりました。「収束か」と思われた新型コロナウィルスも、変異した「オミクロン株」が猛威を振るい、まだまだ我慢の毎日が続きます。

津金寺さんも年末年始の参拝を中止しましたが、しめ縄が張られ、清められた境内は、「一日も早く元の日常が取り戻せますように」の祈りに満ちています。無量寺の桜の老木も、春の日に咲きほころぶ日を風雪に耐えて待ちわびています。今年こそ「コロナの終息を」「お米もリンゴも豊作で」そんな祈りの毎日です。

## 議会活動について「ご意見・ご要望」をお聞かせください。

発行／長野県立科町議会 編集／議会だより編集委員会

〒384-2305 長野県北佐久郡立科町芦田2532番地 TEL (0267)88-8413 有線2311 FAX (0267)56-2310

E-mail gikai@town.tateshina.nagano.jp URL <http://www.town.tateshina.nagano.jp>



議会ホームページ  
QRコード

### 編集後記

議会では、初めての試みで『オンライン議会と語る会』を開催しました。新型コロナ感染症で大勢が集まつの会合ができない状況の中、自宅から参加できる方式でした。

また、議会としても皆様からの意見を聞く新たな方策になりました。コロナだから、出来ないのではなく、実施するにはどうするかを、議員全員で検討しました。

今回は限られた人になってしまいましたが、今後も、様々な方法を試して、『町民の皆様の意見を聞く』という議会の役割の一つを実践していきます。

中島 健男

○今後とも「議会だより」をご愛読ください。

### 議会だより編集委員会

委員長  
副委員長  
委員

村田 桂弘  
中村 茂弘  
榎本 真弓  
中島 健男  
芝間 健男  
今井 健児